

施策評価シート【重点施策】

個別施策Ⅲ－（１）

高齢者が活躍する機会をつくる

基本的な方向性

長年培った技術や知識を活用できるよう、生涯学習[※]や地域活動、ボランティア[※]活動など、様々な形で高齢者の社会参加や地域貢献を支援し、高齢者が生きがいを持ち、社会でいきいきと活躍できる機会を創出します。

重要業績評価指標（KPI）

指標名	単位	実績値					31年度 目標値	進捗 状況
		計画 策定時	27年度	28年度	29年度	30年度		
地域で奉仕活動等を行っている高齢者の数【年間】	人	—	13,306	25,477	22,418	25,527	14,000	A
町内福祉村ボランティア登録者数	人	1,563	1,654	1,670	1,810	1,945	2,100	B
地区公民館の地域人材講師の登録件数	人	104	124	126	110	129	350	C

施策の推進に向けた主な取組の「成果」

- ・奉仕活動等地域で活躍する老人クラブの活動を支援するとともに、総合事業における「通いの場（サロン）」に対する取組を進めることにより、地域で奉仕活動を行っている高齢者が増加しました。
- ・町内福祉村未設置地域への働きかけを進め、町内福祉村を新設するとともに、既設の町内福祉村の活動が持続かつ活性化するよう運営を支援しました。また、町内福祉村活動展示会により認知度を高め、地域福祉フォーラムを開催するなど地域福祉の意識啓発を図りました。
- ・地区公民館の講座や利用団体の活動の中で、地域の人材を活用するとともに、積極的な講師登録と活用が図れるよう各種団体等への周知に取り組むことで、地域人材の発掘・活用を図りました。

施策を推進する上での「課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（⇒）」

- ・老人クラブ（ゆめクラブ）の活動の充実に加え、平塚市生きがい事業団の社会情勢の変化に対応した運営を推進させ、元気な高齢者の外出促進や地域で活躍する場の確保を行うなど、多様化する高齢者の活動への支援を行う必要があります。
- ⇒高齢者の余暇活動や地域貢献の場の一つとして、老人クラブにおける事業を支援することにより、社会と接点を持ち生きがいと健康づくりに取り組むことができる居場所づくりを進めます。また、平塚市生きがい事業団の主体的な運営を促し、多様な就労活動の機会を創出することにより、就労を希望する高齢者がそれぞれにあった働き方で活躍できる環境づくりを進めます。
- ・町内福祉村については、地域の特性を踏まえた活動を積極的に展開する必要があります。また、高齢化等を背景として、地域福祉の担い手が不足する傾向にあります。
- ⇒平塚市地域福祉リーディングプランに基づき、活動の好事例を町内福祉村間で共有することにより、各福祉村の活動の活性化を支援するとともに、登録ボランティアの拡充を図ります。また、地域福祉フォーラムにおける先駆事例の紹介等を通じて地域福祉の意識啓発を図り、地域における支え合いの機運を醸成します。
- ・身近な地域で人材を発掘し、活用するとともに、地域での活動の場を創出していく必要があります。
- ⇒地区公民館での各種事業の受講者からのステップアップを含めて、公民館ごとの人材登録を進めるとともに、地域で様々な技能を持った人材が活動しやすい環境を整備します。

関連する【取組】と（事業）

【住民相互の支え合いや交流活動の活性化の支援】（地域福祉推進事業）

【地域社会の担い手である高齢者活動の支援】（地域の人材発掘・活用事業）（老人クラブ支援事業）